



久屋小だより

大田市立久屋小学校

令和6年11月

(校長 山本孝志)

行事が充実した秋でした！

10/23 全校遠足



三瓶青少年交流の家とサヒメルに出かけました。学校運営協議会の委員の方も参加していただきました。

11/6 連合音楽会



3年生以上の児童が参加しました。「パフ」の合奏と「すてきな一歩」の合唱を発表しました。素敵な演奏・歌声、立派な態度でした。

11/9 わくわく発表会

全学年・学級で、学習の成果を発表しました。学んで知り得た知識だけでなく、そこから考えたこと、感じたこと、これからやりたいことなどを、どの学年・学級も工夫を凝らして発表しました。わくわく発表会に向けた取組をとおして、子供たちは学びを深め、思いを強くしたことと思います。

久利町文化祭も同日開催で、たくさんの地域の方が来校されました。多くの保護者の方や地域の方に、子供たちの一生懸命な姿を見ていただけたことをうれしく思いました。来場して下さったみなさん、ありがとうございました。



全校群読「かぼちゃのつるが」



5・6年生の発表「石見銀山を守り伝えよう
～わたしたちの学びの足あと～」より

造形教育研究大会がありました

11月22日（金）に大田市で中国五県造形教育研究大会が開催され、久屋小学校は、2年生と4年生が図画工作の授業を公開しました。

【2年生の授業】

「つないでつないで！つるしてつるして！」



教室いっぱいを使って、新聞紙や細く切った色画用紙をつないだりつるしたりして、思いついたことをして楽しみました。

【4年生の授業】

「わりピンワールド in 久屋」



わりピンの仕組みを利用して、久屋の町のことや学校のことを工作で表現しました。

たくさんの他校の先生方に見られている中での学習でしたが、2年生も4年生も、特に緊張する様子もなく、自分の思いついたことを、楽しく豊かに表現していました。

「あと〇分で終わるよ」という担任の声に、「えー、まだしたいです！」「月曜日に続きをしましょう！」と言う子供たち、夢中になって図工に取り組んでいるのがわかり、そのような姿を素敵だなあと感じながら見ていました。

今後も、造形的な見方・考え方を働かせた図画工作科の授業の実践をとおして、子供たちの豊かな情操を培いたいと考えています。

~~~~~

### 【5・6年生】11/25 お米食べ比べ

「コシヒカリ」「つや姫」「きぬむすめ」の3種類のお米を、特長の説明を見ながら食べ比べしました。会の終わりには、子供たちが田植えと稲刈りを体験させていただいた田んぼでできたお米「きぬむすめ」をお土産として頂戴しました。ありがとうございました。



たくさん行事のあった2学期でしたが、子供たちは、一つ一つの行事を立派にやり遂げ、様々な力を身に付け成長しました。大きな行事は、日常の延長線上にあるもの、大事なものは日常の小さなことの積み重ねです。行事での子供たちの立派な姿は、日常の努力やがんばりの上に成り立っているものです。

早いもので、来週から12月となります。新しい年、新学期によいスタートが切れるよう、しっかりと学習・生活のふり返りをしたいと思います。

【お礼】久利町文化祭実行委員会様よりご寄付を頂戴しました。ありがとうございました。